

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



いろいろ変更点や混乱もあったりで、やっぱり一筋縄ではいかない新会場！そしてそこを参加者1人1人が工夫と協力で乗り切ってこそこのコミケット！

『冬コミは夏コミより断然ラクだから…』なんて油断せずに、今回まずはリストバンド参加証を早めにGET！そして環境にマッチした服装や装備で参加しましょうネ！



追悼
吾妻ひでお氏

■■ミニマム・コミケット■■

コミケット参加者にとって、長時間待機や暑い／寒いといった環境に対する準備は必要不可欠なものだ。長年の間に参加に必要な持ち物や環境対策などの参加者向けのノウハウも蓄積され、またウェアなどの性能も向上しているので、今や参加時の快適性は大きく向上している。

しかし、一方で夏冬を問わずほぼ何も持たずにあまりにも無防備な服装で来場する参加者も非常に多く、長時間の待機で体調を崩す事例が毎回少なからず発生しているのもまた事実だ。

そこで、コミケットに参加するに当たっての最低限の装備・服装というものを考えてみよう。

あらゆる事態を想定したフル装備はもちろん理想的だが、反面装備そのものが大型化、大荷重になって逆に体力を消耗させる、また1人あたりのボリュームが増大し、混み合う場所では周囲に迷惑となりがねない、というマイナス面もある。

特に会場が手狭なうちは、参加者の装備ミニマム化を検討してみるのも有益だろう。

——■『冬コミに行く時の最低限の装備』を考える■——

冬コミは夏に比べればまだしも身体的な負荷は低めなので、装備を減らすには向いている。しかし、それでも最低限必要な物はあるし、前回の夏コミを経ての現在の会場の状況では、現実問題として入場までにかかる時間が従来よりも長くなったり、予想外の場所で行列ができるなどの事態が発生しているため、手ぶらというのはオススメできない。

そして冬のビッグサイト周辺の気候は概ね『晴れ・極度に乾燥・微風』という状態で安定しているが、時には雨や雪も降るし、風が吹けば体感気温は実際以上に低く感じられる。そういった環境下で、1日安定した体調を維持するためには、持ち物に加えて服装の選定が非常に重要になってくる。

●まずは何を持っていくか、考えよう

最低限の持ち物として考えると、以下のようなものが挙げられる。

- ①自分の健康や体力を維持するための装備 > 防寒着・飲物・雨具・待機用品（折畳イスなど）
- ②購入と連絡や情報収集のための装備 > 財布・携帯電話（スマートフォン）・モバイルバッテリー
- ③装備や購入物を自宅まで持ち帰るための装備 > バッグやバックパック・紙袋（会場調達）

つまり、『冬のビッグサイト周辺の環境下で寒くないような服装をし、財布と飲物と携帯電話やスマホを入れたバッグかバックパックを持つ』ことが最低限必要ということになる。そして、より快適に、より多様な状況に対応できるように、参加者は自分の持ち物をカスタマイズするのだ。

冬コミ用モジュール化版持物リスト

推奨している持物のリストとそれぞれの運び方の提案です。自分の参加スタイルに合わせ、適宜追加・除外して最適化して使用して下さい。

http://www.comi-navi.com/contents/pdf/bring_list_winter.jpg



●最大限の動きやすさと最小限の防寒

アナタはコミケットに参加する際に、どんな事を考えて着ていく服を選んでいるだろうか？
コミケットには一種のハレの日としての側面もあるので、とっておきの好きなブランドの服やキャラクターのグラフィックアパレルを着る機会、あるいは既製品のコーディネートであるキャラクターの服装を再現するなどの遊び心で服を選ぶといった参加者も多いだろう。そしてそれ以上に普段着の延長、あるいは普段着そのままの服装で済ませる、という参加者が一番多いのではないだろうか？

しかし、コミケットの1日は、普段の1日とは大きく異なっているはずだ。その違いが最も顕著なのが、やはり待機時間だろう。冬に屋外で長時間じっと待つ（予定していなくても突発的な待機時間が生じる場合も多い）という事態を想定すると、かなり念入りの防寒が必要になるだろう。夏の熱中症ほどではないにしても、体温が下がりすぎれば体調を崩して動けなくなる場合もある。反面、ホール内での活動は日常の屋内（大きめの駅の中くらいを想像すればよい）と大差ないので、過剰な防寒装備は動きづらく、暑い、脱いでもかさばるのでその両立を考えねばならない。

●ポイントは『内厚外薄』

男女ともに、冬コミの環境に則した防寒を考えるとしたら、**なるべく全身を化繊（化繊混紡）のアンダーウェアで覆うのがベストだ**。待機時の保温と活動時の放熱という矛盾した要求を両立させるためには、待機時には体温を奪われないように、逆に活動時には汗をかきすぎないように体温を適切に逃がす必要がある。その解答が、保温性の高い薄いウェアで全身を覆い、上に着るものは薄めにして風通しをよく、さらにマフラーや手袋、カイロなどをサポートアイテムとして活用する、というメソッドだ。

保温をアンダーウェアに担わせることでその上に着込む全ての服を薄めのものにできるので動きやすく、今回の『ミニマム化』というテーマ的にも理に叶う。

逆に普段着の上から分厚い上着を着るという防寒だと待機時は各所の裾から寒気が侵入して寒く、動くと重ね着のせいで暑い上に肌に接している服が汗を吸って湿り、次に待機する時に短時間で身体を冷やしてしまうことになりかねないのでオススメできない。

●対冬コミ装備例（男性向け）



直射日光を遮るだけでなく、放熱面積の大きな頭部から体温を奪われるのを防ぐ防寒具としての役割もあるキャップは冬コミでもマスト装備。

襟首まわりは体温が逃げやすい防寒的最重視ポイント。いくら着込んでもここが開放されていると冷えは防げないためマフラーやネックウォーマーは必須だが、ハイネックのインナーなら保温力が高くその分持ち物を減らせるメリットもある。

上着は過剰に防寒性能の高いものはホール内に入ると一転暑くてたまらなくなり、脱いでも邪魔になるので動きやすさを再重視して選ぼう。ポケットの中身を落とすにくだいレイアウトになっているかもチェック。

非常に気温が低い、あるいは長時間待機するなどにより保温力が欲しい場合は上着を厚くするより上着の下にベスト型の防寒具を着ておく方が保温性が高く、暑く感じたらベストだけを脱げば上着を脱ぐよりかさばらない。

化繊製の厚手&長めの靴下は保温性、速乾性に優れ、疲労軽減にもなるので強く推奨。長時間歩行を前提に作られたハイキングシューズやライトトレッキングシューズとのペアなら1日ガンガン歩ける！

男性には馴染みが薄いかもしれないが、タイツタイプのアンダーウェアは驚くほど防寒高価が高いのでぜひ試してみてほしい。

●防寒は腰から下で差がつきます

男性以上に冷えがシビアな女性参加者だが、厚着しすぎるとトイレの際に大変なので、保温性能の高い厚手のアンダーウェアをきちんと着込んで基礎防寒を徹底しよう。スカートやショートパンツスタイルの場合はもちろん、パンツルックであっても厚手の防寒ストッキングやタイツは必須装備だ。

また、待機時に冷え切ったアスファルトやコンクリートの地面の上に直に座ると、短時間でも非常に冷えるので、短時間と油断せずに必ず敷物や小型折り畳みイスなどを用意して行くようにしよう。

●対冬コミ装備例（女性向け）

ひざ掛けや肩から首まわりの防寒に加え、UVカット加工された製品なら頭からかぶれば関東の冬名物の強烈な紫外線からお肌を守ることができ、たまためコンパクトなストールは女性参加者の強い味方だ。

アンダーウェア防寒をしっかり行った場合でも、小さな貼るタイプのカイロを1つ、腰（背骨と腰骨の接合部辺り）に貼っておこう。腰を積極的に温めておくと全身の疲労感を低減する効果がある。それでも寒い時には上着の内側、肩甲骨の間くらいの位置にもう1つ貼るとよい。

冬の関東地方は概ね非常に乾燥しているので、化繊のインナーの上に化繊や毛の服を直接重ねると、摩擦で静電気が大変なことになりかねない。着ていく予定の服には静電気予防スプレーを吹く、化繊の上には綿などの静電気を起こさない服を重ねるといった工夫が必要になる。

トイレなどの際にいちいち詰め替えずに常に持ち歩けるよう、手回りの荷物や貴重品はまとめて小さめのしっかり口の締まるバッグやリュックなどに分離し、身につけておこう。

熱い飲み物入れた
サーモマグは必携！



冷えは足元からやってくる。足首を冷やすと上半身をせせと温めても効果半減の上に、捻挫などのリスクも高まる。お洒落も大切だが安全と体調管理も大事なので、できるだけサンダルなどの保温性が無く足を守れないタイプの履物は避けよう。

●ミニマムな雨対策……？

冬の関東地方は雨が少ない気候と言っても、雨に見舞われるケースはある。夏と異なり冬の雨は短時間に激しく降ることは少ないために比較的簡単な対策で済むが、逆に濡れてしまうと長時間にわたって非常に寒く不快な思いをすることになる。天候情報には常に注意を払い、雨の可能性が示唆された際には、ミニマム装備でも雨対策はしていこう。

- ①傘は待機列では原則使えないので上着は防水・撥水性能を持ったものを選ぶか、その上に素早く羽織れるポンチョやヤッケタイプの雨具を用意しておく。帽子もあるとよい。
- ②上半身は雨具でカバーできても下半身は濡れやすいので、逆に濡れることを前提として『濡れても寒くない』『乾きやすい』装備を考えよう。化繊のアンダーウェアはその意味でも優秀なので、晴雨男女を問わず装備してほしい。
- ③靴を完全防水のものにするのは困難だが、化繊やウールの厚手の作業用・ハイキング用靴下なら例えば靴の中まで浸水しても足が冷えず不快感も少ないので用意しておくといよい。

■■コミケットでヒヤリハット■■

現場系の職業に従事している参加者には今更だが『ヒヤリハット』とは、工事の現場で肝を冷やするような危険な事があった、これまで発見されていなかった危険要素に気づいた、といった、一歩まちがえば重大な事態につながりかねないような事例が見い出されることを指す言葉だ。

コミケットでも会期中はどうしても高揚感や自分の目的達成のために視野が狭くなりがちため、さまざまなトラブルが起きやすい状況にある。常に自分自身と周囲への注意と気配りを忘れずに！

■荷物は凶器になりかねない■

すっかりイベント参加のトレードマークの位置を獲得した感のあるキャリーバッグ。サークル参加者はもちろん、一般参加者でもコスプレイヤーでも愛用者は非常に多く、そのために他の参加者の足を車輪でひいた、あるいは他の参加者がけつまづいたなど以前から多くのトラブルが発生している。また、男性参加者に多い、背後に大きく張り出し中身がみっちりと詰まったバックパックも、混み合ったホール内ではわずかに方向転換をするだけで周囲の参加者や卓上のディスプレイ類をなぎ払うというトラブルを頻発させている。共通するのは、持ち主の視界の外でこれらのトラブルが発生しやすいということだ。

人間の注意力は常に全方向にくまなく発揮されるものではない。特に混み合い、周囲の人々との距離が近い場合には、意識はどうしても進行方向のみに強く働き、背後や周囲に対しては散漫になりやすい傾向にある。キャリーバッグや大きな荷物を運ぶ際には、自分の意識や注意が届く範囲内に収めるのがトラブルを引き起こさないコツだ。

- ・4輪型のキャリーバッグは背後に引っ張るのではなく、直立させて自分の身体の脇を並走させる。
- ・キャリーカート等、並走できない構造のものは積載した荷物に目立つ（蛍光色などの）サインを付け、できるだけ背後に長く引きずらないよう、自分に引きつけて牽引する。
- ・バックパックに全てを詰め込まず、サブバッグを持つことで荷物を分割し、背後への張り出しを極力抑える。
- ・エスカレーターに乗る際には上り下りを問わずキャリーバッグを身体の前横に置き、絶対にハンドルから手を離さないこと。大きなバックパックや紙袋はできるだけ身体の前方に両手で抱えて持ち、エスカレーターのステップから荷物を転落させないよう最大限の注意を払おう。



■『とられない』ためにできること■

非常に残念なことながら、コミケットの会場内外でも犯罪行為を行う者は存在する。参加経験があれば会期中に時々スリや釣り銭詐欺への注意を喚起するアナウンスが入るのをご存知だろうし、実際にここ最近、開催の度に会場内でスリが逮捕されている。またかなり以前から、サークルの頒布物や売上金、手荷物などの窃盗、あるいは女性コスプレイヤーや参加者を狙った盗撮や無許可撮影などの迷惑行為の被害は発生している。

たとえコミケットが同好の士の集まる楽しいお祭りであろうとも、アナタがそういった犯罪行為の被害者になる可能性はあり得るということは、決して忘れてはいけない。被害に遭ってしまってから悔やむよりも、少しでも実際に被害を受けてしまうリスクを低減させる努力はしておくべきなのだ。

●『とろう』とする相手を知り、『とらせない』を徹底する

スリ
窃盗

荷物や着衣から、財布などを気づかれぬように抜き取る行為。混み合ったホール内で押しあいへしあいして気づいたら財布がなかった、などのケースでは被害者は自分で落としたのか盗られたのか区別がつかず被害が発覚しないケースも多い。

とにかく財布を手や身体から離れた手荷物やリュックなどの中に入れておかないことと、リュックの口を開けたまま背負ったりしないことは徹底しよう。また財布を2つに分け、購入資金だけを入れた財布を手元に、現金以外のカード類なども入った普段使っている財布は、自分以外が簡単にとり出せないよう、誤って落としたりしないようにバッグの中にしっかりしまっておこう。購入資金の財布にも、リードやチェーンや鈴などを取り付けて、一見して取りにくいと思わせる工夫をしておくとうい。

無断撮影

相手に撮影していることを悟られないように一方的に写真や動画を撮影する行為。人物だけでなく、同人誌の内容やサークルスペースそのものなどを無断で撮影される場合もある。画像がインターネット上に流出すると二度と消すことができず、被害が大きい。

サークルスペースやコスプレの無断撮影は最近では外国からの参加者が無差別に撮影していくようなケースも多いので、撮影されたくないコスプレイヤーやサークルは『無断撮影禁止・No photographs・禁止拍照・촬영금지』といった掲示を目立つように出して相手に注意を喚起するなどの自衛策を取るとよい。また、コスプレ私服を問わず、姿勢によって胸元や下着などが簡単に見えてしまわないかを事前にチェックしておこう。同性の参加者は偶発的にそういった場面に気づいたら、積極的に相手に教えてあげてほしい。『別に自分は撮られても気にしない』という考え方もあるかもしれないが、『コミケは盗撮しやすい』と、さらに不心得者が増えることにもなりかねないので放置するのは得策ではない。

万引

サークルの頒布物をさまざまな手口で対価を支払わずに持ち去る行為。会計時や休憩時などに目が行き届かなくなりやすい個人サークルが狙われやすく、会計の際に支払った金額以上の数の頒布物を気付かれないようにバッグに入れるといった手口が多い。

見本誌には大きく目立つように『見本』と記し、頒布用のものはサークル側が希望された数取って購入希望者に渡す。会計時も慌ててスピーディに行おうとするよりも、『《誌名》〇冊●●●円になります。□□□□円お預かりします。お釣り■●■円です』と逐一はっきりと相手の顔を見ながら口に出してお金と品物の流れを確認することで相手に注意を払っていることを伝えることが基本だ。誰かが自スペースの前に足を止めたら、立ち去るまできちんと注意を払うことは、やましい意図のない多くの参加者からは好印象に繋がるので一石二鳥だ。

また、スケブを描いたりスマホでPRのツイートを行うなど、頒布物から注意を外す際には一旦卓上に布などを掛け、その上に見本誌だけを並べるといった予防策を講じよう。



置引

サークルスペース内に侵入したり、休憩時に寝落ちてい一般参加者の荷物や戦利品の入ったバッグなどを気付かれないうちに持ち去る行為。

貴重品は戦利品と同じバッグには入れず、ポシェットやミニバッグやリュックなどに入れて常に身につけておく、ベンチに座って休憩する際にはバッグは膝の上か脚の間に置き、ショルダーベルトや持ち手に手指をかけておくといった基本的な防護策を徹底するだけでも、かなりこの犯罪は防げる。

サークルの荷物は1つのダンボール箱にまとめ、自分が座っている椅子の下やなるべく近くの身の回りに置く、メンバーの全荷物のベルトや持ち手を自転車用のワイヤー錠でまとめて括っておき、複数のメンバーがスペースを出入りする場合も売上や釣銭などの現金は常にサークル代表者が所持管理するといったルールを定めておく、背後や左右のサークルと朝一番の挨拶からのコミュニケーションを保ち、スペース内のメンバー交代の際は互いに一声かけあい、もし不審者の侵入に気づいたら即周囲のサークルに確認しやすくする、といった態勢を作っておくことが望ましい。

●ヒヤリハットしたらどうすれば……？

コミケットの会場で様々なトラブルや危険な場面や行為、あるいは犯罪行為の現場に居合わせてしまったとしたら、アナタはどう行動すべきだろう？ 少なくとも『見てみないふり』だけは絶対に避けるべきだ。そう分かっているにしても、いざとなると適確に行動するのは難しいものだが、できるかぎり以下の2つのアクションを起こすことは心がけておいてほしい。

- ①なるべく早く各ホールの準備会インフォメーションに行き、見聞きしたことを伝える。可能ならその後メモなどに残しておく。
- ②既に事態の対処に当たっているスタッフや参加者が居る場合にも『なにかお手伝いできることはありますか？』と声をかけてみる。



●みんなで守ろう『非ウイルス三原則』

疲労や睡眠不足、寒さなどで抵抗力の落ちた参加者が非常に大勢集まり、そしてまた極めて広い範囲に帰っていくというコミケットの環境に、【インフルエンザ】をはじめとして【ノロ】【ロタ】、そして昨今流行が懸念されている【風疹】などの危険なウイルスたちが一度侵入すれば、爆発的感染拡大（パンデミック）を引き起こしかねないため、参加者全員が予防のため最大限の注意と努力をしなくてはならないのだ。

●感染源にならず

まずは早めに予防接種を受け、コミケットが近づいたらより体調管理を徹底。

●他の感染者を作らず

直前や当日朝に体調に少しでも疑わしい兆候があったら例えサークル参加者でも絶対に会場には行かず欠席する勇気を持つ。必ず病院に行って検査を受けた上で安静に。

●ウイルスを持ち帰らず

人混みではマスクを着用、飲食の前には必ず手を洗うか、除菌ウェットティッシュ等で手指を拭く、会場でも時々うがいをする、帰宅後は暖かい環境で十分な休養を取る。

CAUTION

本記事の内容は全てコミケット準備会のチェック及び承認の上掲載されているものですが、紹介しているアイテム類や行為はコミケット当日の天候や状況によって使用できなくなるものや、禁止となる場合も発生しえます。最終的には現場のスタッフの判断に従ってください。

『臨機応変』もコミケット参加者に求められる大切な認識です。

本コーナーに掲載している健康面についての情報は専門医学的考証に基づいたものではありません。また、取りあげられている各種事例や方法については個人差があり、必ずしも期待される効果をもたらさない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本コーナーではコミケットビギナーの為に、参加に際して有用と思われる情報や知っておいて欲しいことを繰り返し、様々な切り口から論じています。過去の記事も併せて読むことで得られる情報の密度が向上しますので、是非下記サイトからご活用下さい。

●twitter: @Comi_Navi

●Website: <http://www.comi-navi.com/>

開催が近づくと、コミケットにより快適に参加するための最新情報を逐次ツイートしていきます。

Webサイトでは過去のカタログに掲載されたComi-Navi記事や、コミケットQ&Aなどを掲載しています。ともに参加前にぜひ一読を！

◆カタログ掲載記事まとめ本（夏）（冬）作りました！

約10年分の記事をまとめました。ある意味最強の快適参加マニュアルです。

◆コミケットサポートマガジン『コミケPlus』もよろしく！

コミケPlus誌の製作に全面協力しています。継続のため是非ご購入下さい！

◆コミケット会場でも参加者をサポート！

南3ホール入口そばの物販ブースに参加者サポートShop出展。会場内で何か困った時にはお立寄り下さい。



ココで
頒布中！

■Staff ■Writing: 植村 枉(FORTUNE) ■Illustration: 桜部のとす(PalePink!)
■Web: 大木 真希夫 ■Cooperation: 蒼破